

あなたにとって言葉とはどのようなものですか。

ヤコブ3:2「私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。」

ヤコブ3:9～10「私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。賛美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。」

☆モーセと兄アロンとの関係性

出エジプト4：10～16

ルカ6:45b「なぜなら、人の口は心に満ちているものを話すからです」

ヨブ8:10「彼らはあなたに教え、あなたに語りかけ、その心からことばを出さないだろうか。」

1. 人の言葉の出てくるところ マタイ12：34～35

a. 「心に満ちていることを口が話すのです」

「心」が私たちの言葉の出てくるところです。

「心」とは、人の内側の全体を指すことばです。

マタイ5:8「心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。」

b. 「良い人は良い倉から良い物を取り出し」

「倉」とは、物を貯えておく場所。私たちの心を比喩的に表現しています。

ルカ6:45a「良い人は、その心の良い倉から良い物を出し」

☆私たちの信仰において

ローマ10:10「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

c. 「悪い人は、悪い倉から悪い物を取り出すものです」

私たちの心の正直な発露が、私たちの言葉となって口から出てくるのです。

ルカ6:45a「悪い人は、悪い倉から悪い物を出します」

☆律法学者やパリサイ人たちの姿

偽善者 **ギ** ヒュポクリテース

もともとは様々な役を演じる俳優を指す語で、後に「偽善者」を意味するようになった。

マタイ23：3～7

23：27～28

私たちの主は心を見られる

I サムエル16:7b「人はうわべを見るが、主は心を見る」

ウィリアム・バークレー

「人の心の状態は、その人が話す言葉によって知られる。昔、ギリシャの劇作家メナンドロスは『人間の性格は言葉によって知られる』と言った。心にあるものは唇に上る。心に思っていることだけが口に出てくる。言葉ほど人の本質をあらわすものはない。少し話をしていけば、相手の心がきれいにかきたないかがわかるし・・・」
「人は怒ったときに、冷静なときには決して言わないことを言ってしまう。あとになって、そんなつもりではなかったと言っても、それで一度口にした言葉の責任からまぬがれることはできない。（中略）ギリシャの哲人ピタゴラスは、『やたらな言葉をはくより、石をやたらに投げたほうがよい』と言った。
人を傷つける言葉、人を汚す言葉は、一度口を離れば二度と戻らず、行く先々で人を傷つけていく。われわれは自分を反省し、また自分の言葉を検討して自分の心の状態を知らなければならない。」

2. 私たちの口から出てくる言葉に対する教え エペソ4：29

A. 否定的な面

① 「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません」

「悪い」→「腐っている」「価値がない」

エペソ5：4「また、みだらなことや、愚かな話や、下品な冗談を避けなさい。そのようなことは良くないことです。」

私たちが悪いことばを口にするとき、30節で記されているように、私たちの内に住まれる聖霊が悲しまれます。

ヨハネ14：16「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。」

ヨハネ16：13「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。」

聖霊は、私たちの内で働き続けています。

Ⅱコリント3：18「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」

聖霊は、私たちが罪を犯すその時、悲しまれるのです。

私たちが、聖霊を悲しませることが、決してあってはいけません。

B. 肯定的な面

① 「ただ、必要な時」

箴15：23「良い返事をする人には喜びがあり、時宜にかなったことばは、いかにも麗しい。」

25：11「時宜にかなって語られることばは、銀の彫り物にはめられた金のりんごのようだ。」

② 「人の徳を養うのに役立つことばを話し」

→ 私たちクリスチャンは、他の人々の霊的成長の為に、適切な良い言葉を語る必要があります。

ヨブ4：4「あなたのことばはつまずく者を起こし、くずおれるひざをしっかりと立たせた。」

ローマ15：2「私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです。」

Iコリント8：1b「しかし、知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます。」

③ 「聞く人に恵みを与えなさい」

→ 聞く人にとって益となるために、心に浮かんだ良い言葉が口から出ていかなければなりません。

コロサイ4：6「あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。」

そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。」

Iコリント12：7「しかし、みなさんの益となるために、おのおのに御霊の現れが与えられているのです。」

3. まとめ

- ① 私たちの_____から出る言葉は、私たちの_____から出てくるものです。
私たちの_____の状態が、良い言葉を出したり、悪い言葉を出したりします。ですから、私たちは自分の心を正しく吟味し、良い状態（清い状態）に保つことが大切です。
- ② 私たちの言葉がいつも_____言葉であって、聞く人たちの霊的成長に_____をもたらし、また恵みを与えるものでありたいと願っています。

箴言13:3「自分の口を見張る者は自分のいのちを守り、くちびるを大きく開く者には滅びが来る。」